



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北井 暁夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 正木 輝

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	36,153	39.6	935	203.2	933	185.1	592	224.0
24年3月期第1四半期	25,905	4.4	308	43.8	327	22.7	182	23.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 279百万円 (512.1%) 24年3月期第1四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.18	—
24年3月期第1四半期	7.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	76,746	48,287	62.4	1,953.04
24年3月期	82,237	48,375	58.3	1,956.75

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 47,874百万円 24年3月期 47,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,000	30.3	1,800	66.4	1,800	55.9	1,100	65.8	44.60
通期	140,000	4.9	3,000	6.4	3,000	12.2	1,800	31.3	72.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付文書P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	24,855,283 株	24年3月期	24,855,283 株
25年3月期1Q	342,659 株	24年3月期	342,591 株
25年3月期1Q	24,512,658 株	24年3月期1Q	24,753,805 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要は見られるものの、欧州の財政危機や中国をはじめとする新興国の経済成長鈍化の影響を受け、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、国内においては、新興国による設備投資の鈍化により、産業機器関連が低迷いたしました。自動車電装関連は北米市場の回復により堅調に推移いたしました。一方、娯楽機器関連につきましては、市場は底打ち感が見られ、主要顧客の新機種投入もあり売上高は大幅に増加いたしました。

海外においても、アジアでは、ローカル企業向けや欧米系企業向けは欧州の財政危機の影響を受け、前年同四半期連結累計期間と同様に低調に推移いたしました。北米向け自動車電装関連は前年同四半期連結累計期間を上回り、売上高は増加いたしました。また、娯楽機器関連においては国内同様に、好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高 361億53百万円（前年同四半期比39.6%増）、営業利益 9億35百万円（同203.2%増）、経常利益 9億33百万円（同185.1%増）、四半期純利益 5億92百万円（同224.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は259億94百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

① 集積回路

国内においては、娯楽機器関連・自動車電装関連を中心に増加いたしました。海外においても、北米向け自動車電装関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は114億62百万円（前年同四半期比20.8%増）となりました。

② 半導体素子

国内においては、自動車電装関連においては好調に推移したものの、産業機器関連が全体的に、低調に推移いたしました。海外においても、国内同様に産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は37億58百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

③ 回路部品

国内においては、当社の主要仕入先がタイ洪水の影響を大きく受けて、産業機器関連が低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は34億42百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。

④ 電子管

国内においては、娯楽機器関連の好調を受けて、増加いたしました。

以上の結果、電子管の売上高は20億77百万円（前年同四半期比93.6%増）となりました。

⑤ その他電子部品

国内においては、娯楽機器関連の好調を受けて、増加いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は52億52百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

アセンブリ事業

アセンブリ製品

国内においては、娯楽機器関連において、主要顧客の新機種投入により大幅に増加いたしました。また、海外においても、上記理由により娯楽機器関連向け売上高は大幅に増加いたしました。

以上の結果、アセンブリ製品の売上高は93億32百万円（前年同四半期比358.0%増）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作

国内において、パソコン向け光ディスクドライブの売上が低調に推移し、減少いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作の売上高は8億27百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は707億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億57百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が15億26百万円、受取手形及び売掛金が2億64百万円増加したものの、現金及び預金が70億99百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は59億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が92百万円増加したものの、投資有価証券が2億18百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、767億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億91百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は241億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億22百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が48億79百万円、未払法人税等が4億69百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は43億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が93百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、284億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億3百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は482億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2億25百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が1億27百万円、為替換算調整勘定が1億90百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.4%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、国内においては震災の復興需要が期待できるものの、欧州の金融不安による市場への影響や円高、資源の高騰など、先行き不透明な状況が続くものと見ております。

連結業績予想につきましては、現在のところ、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結結果計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,710	10,610
受取手形及び売掛金	35,081	35,346
商品及び製品	15,099	16,626
仕掛品	4	75
繰延税金資産	431	430
未収入金	7,608	7,505
その他	255	187
貸倒引当金	△62	△11
流動資産合計	76,128	70,770
固定資産		
有形固定資産	1,325	1,353
無形固定資産	263	224
投資その他の資産		
投資有価証券	2,249	2,030
繰延税金資産	391	483
その他	1,888	1,891
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,520	4,397
固定資産合計	6,109	5,975
資産合計	82,237	76,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,961	21,081
短期借入金	1,310	1,410
未払法人税等	850	380
役員賞与引当金	6	12
その他	1,319	1,239
流動負債合計	29,447	24,125
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
再評価に係る繰延税金負債	153	153
退職給付引当金	1,059	965
役員退職慰労引当金	3	—
資産除去債務	4	4
その他	193	210
固定負債合計	4,414	4,333
負債合計	33,862	28,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	30,727	30,952
自己株式	△223	△223
株主資本合計	49,606	49,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	△92
繰延ヘッジ損益	△2	—
土地再評価差額金	215	215
為替換算調整勘定	△1,889	△2,080
その他の包括利益累計額合計	△1,641	△1,957
少数株主持分	410	412
純資産合計	48,375	48,287
負債純資産合計	82,237	76,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	25,905	36,153
売上原価	23,672	33,208
売上総利益	2,232	2,945
販売費及び一般管理費	1,923	2,010
営業利益	308	935
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	18	17
仕入割引	0	10
為替差益	1	—
雑収入	13	3
営業外収益合計	35	34
営業外費用		
支払利息	12	13
為替差損	—	17
雑支出	3	5
営業外費用合計	16	36
経常利益	327	933
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除売却損	—	4
投資有価証券評価損	26	—
その他	—	0
特別損失合計	26	5
税金等調整前四半期純利益	300	930
法人税等	100	333
少数株主損益調整前四半期純利益	199	596
少数株主利益	16	3
四半期純利益	182	592

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	199	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△127
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△135	△191
その他の包括利益合計	△154	△317
四半期包括利益	45	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	276
少数株主に係る四半期包括利益	16	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,677	2,037	1,190	25,905	—	25,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,677	2,037	1,190	25,905	—	25,905
セグメント利益	700	62	8	770	△461	308

(注) 1. セグメント利益の調整額△461百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△461百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,994	9,332	827	36,153	—	36,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,994	9,332	827	36,153	—	36,153
セグメント利益	1,174	285	25	1,485	△550	935

(注) 1. セグメント利益の調整額△550百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△550百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。